

アコマシリコンジャクソンリース

【警告】

- (1) 使用前に本品の接続に誤りがないか、使用前及び使用中に各接続部が気密かつ確実にあり、漏れや閉塞がないことを確認すること。[閉塞や漏れにより、呼吸に障害が生じる可能性が有る。]
- (2) 構成部品（ガス供給チューブ、シリコン蛇管、呼吸バッグなど）が劣化した場合は、使用せずに新しいものと交換すること。[漏れや使用不能の原因となる]

【禁忌・禁止】

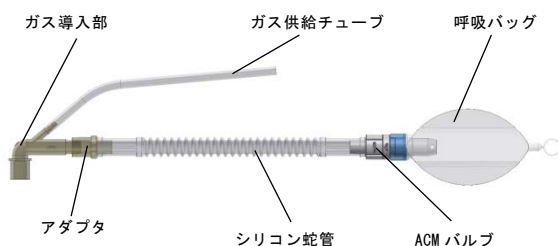
使用方法

- (1) 可燃性ガス区域内では使用しないこと。[本装置は防爆型ではないため、可燃性ガスによっては発火する恐れがある。]
- (2) コネクタ内側に内筒があるものには接続しないこと。[回路が閉塞する可能性がある]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

本品は、呼吸回路として用いるもので、ガス導入部、アダプタ、シリコン蛇管、ACM バルブ、呼吸バッグ、及びガス供給チューブで構成されるセットである。



1) 構成部品

構成部品の種類	呼吸バッグ
No.1	0.5 L
No.2	1 L
No.3	2 L
No.4	3 L

2. 作動・動作原理

ガス供給チューブより送られたガスを呼吸バッグに蓄積し、用手にて呼吸バッグを加圧することで蓄積されたガスを患者に供給する。また、ACM バルブを回すことで、蓄積されたガスを排出する。

【使用目的又は効果】

本品は人工呼吸器等に接続し、呼吸管理をするために用いる。

【使用方法等】

使用方法

1. 使用準備

- (1) 使用前に破損などが無いことを確認する。
- (2) 全ての接続部が確実に接続され、緩みが無いことを確認する。
- (3) ガス供給チューブを酸素流量計のガス出口に接続する。
- (4) 使用前にガスを流した状態で、ACM バルブを回して閉鎖し、ガス導入部の口を塞ぎ、呼吸バッグが膨らむことを確認する。
- (5) ACM バルブを回し、ガスを排出する。

2. 使用時の取り扱い

- (1) ガス導入部の患者接続口を本品と接続するマスクなどに接続する。
- (2) 呼吸バッグの膨らみが適切になるように、ACM バルブを操作し用手換気を行う。

**3. 使用後の取り扱い

ガス導入部、アダプタ、ガス供給チューブ、シリコン蛇管、ACM バルブ、呼吸バッグをそれぞれ取り外し、滅菌・消毒・洗浄を行う

**消毒または洗浄方法

- ◇ 次亜塩素酸ナトリウムまたは消毒用エタノール（76.9-81.4 vol%）による消毒または洗浄が可能。（各消毒薬の使用法に従う）

滅菌方法

- ◇ オートクレーブ滅菌の場合（以下のどちらかを選択）
 温度 134℃、滅菌時間 5 分以上、滅菌耐用回数 20 回
 温度 121℃、滅菌時間 15 分以上、滅菌耐用回数 20 回

**使用方法等に関連する使用上の注意

- (1) 使用前に動作に異常が無いことを確認すること。
- (2) 患者に過剰な圧が掛らないよう常に監視すること。
- (3) 使用中に呼吸バッグに折れなどが無いことを確認すること。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- ** (1) 本品を使用中に水や薬液などの液体で濡らさないこと。
- (2) 他の製品と接続するときは、その互換性や安全性を十分確認し、使用すること。

【保管方法及び使用期間等】

保管方法

- (1) 水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光を避け、過度なほこりが発生する場所、塩分、イオウ分などを含んだ空気により、悪影響の生ずる恐れのない場所に保管する。
- (2) 傾斜、振動、衝撃などのない、安定した場所に保管する。
- (3) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しない。

耐用期間

3 年〔自己認証（当社データ）による〕

【保守・点検に係る事項】

**洗浄および消毒／滅菌方法

- * (1) 次亜塩素酸ナトリウム及び消毒用エタノール以外の消毒または洗浄はしない。
- (2) オートクレーブ滅菌は、指定の滅菌温度（134℃：5 分以上、又は 121℃：15 分以上）で実施する。
 また乾燥などの工程時、滅菌装置庫内の温度が指定滅菌温度以上になる場合があるので、使用滅菌装置の添付文書などで安全を確認する。
- (3) 滅菌は装置に定められた、滅菌条件を守ること。
- ** (4) 消毒・洗浄をおこなったものは、十分に乾燥させること。
 また、滅菌時は乾燥工程を十分に行うこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者および製造業者の名称

アコマ医科工業株式会社

電話番号

03-3811-4151（緊急時と同様）

<https://www.acoma.com>